



2023年度千葉県女子サッカー選手権大会 (皇后杯JFA第45回全日本女子サッカー 選手権大会千葉県予選) 決勝戦



2023年7月23日(日)15:30キックオフ 東総運動場

順天堂大学女子蹴球部 0(0-0,0-1)1 VONDS市原FCLレディース

R:彦坂 由樹子氏、AR1:澤井 朋子氏、AR2:平山 美幸氏、4th:山田 裕美子氏(文中敬称略)

夏真っ盛りの中千葉県女子サッカーナンバーワンを決める試合を終えた審判団にインタビューを行いました。



(左から 平山 美幸さん、彦坂 由樹子さん、山田 裕美子さん、澤井 朋子さん)
↓入場シーン(以下のリンクをクリックしてご覧ください)※2023年12月31日まで掲載
https://1drv.ms/v/s!Akh_D5CQSHm-gaQMGJEyhJFrn0_hag?e=4RfIKO

| 目次 | | | |
|------------------|------|-------------------|-------|
| 千葉県女子サッカー選手権大会決勝 | 1～4 | フットサルの魅力!!① | 12～14 |
| 夏の研修会(育成部) | 4～5 | ジュニアワールドチャレンジ | 14～15 |
| (祝)昇級者紹介 | 6 | 地域で頑張っています(Part2) | 16～20 |
| (祝)J1通算200試合担当 | 6～7 | 更新・昇級試験等 | 20～22 |
| 地域で頑張っています | 8～11 | 郡市だより | 23～24 |

Q : 皆さんに伺います、今日の決勝戦を振り返ってみて、いかがでしたか？

彦坂 : レフェリングの事を考えなければ、無事に試合が終わりホッとしています。暑かったです。(笑)

澤井 : 緊張しましたが、楽しかったです。

平山 : 何よりも楽しかったです。もちろん緊張もしましたし、個人的に反省点もたくさんありますが、楽しんで参加することができました。

山田 : 久しぶりの公式戦の第4の審判員でかなり緊張しました。全くレフェリーのアシストができませんでした。

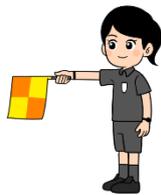


Q : 彦坂さんは2年連続のレフェリーで、今回の決勝戦はどのような気持ちで臨まれましたか？

彦坂 : 2年連続この大切な試合を任せていただきとても感謝していますし光栄に思います。審判4人で協力し良いperformanceができればいいな。良い位置での判定ができれば。何よりも楽しんでできればと。

Q : 澤井さんは初めての女子選手権決勝戦でアシスタントレフェリーでしたが、今日の決勝戦をどのように感じましたか？

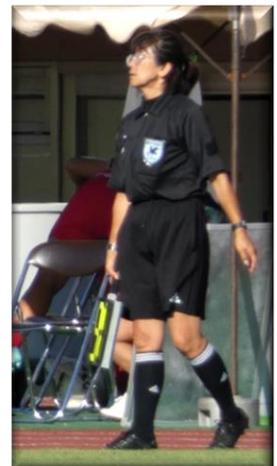
澤井 : 貴重な体験をさせていただき、感謝しております。試合前の張り詰めた空気、スピード、競り合い全てにおいて決勝戦だけあり、とても良い試合でした。



Q : 平山さんは3年連続の女子選手権

決勝戦でのアシスタントレフェリーでしたが、昨年と今年とでパフォーマンスやモチベーション等に違いはありましたか？

平山 : モチベーションは、成長していなくて申し訳ありませんが、3年参加させていただいても変わりません。参加させていただくことの重責に緊張しつつもどんな試合になるのか楽しみでした。パフォーマンスはどうでしょうか、他の方と一緒に、私自身も毎回毎回の試合で目標の達成と新たな課題の発生繰り返していますので、なかなか一概に成長したとも言えないですが、少なくとも去年の試合で反省点は意識して行えたと思います。



Q : 山田さんは第4の審判員というポジションでしたが、これは気を付けた事とかはありましたか？

山田 : 決勝戦ということで白熱すると思っていたので、ベンチコントロールをしっかりと、スムーズな進行を心がけていました。

Q : 皆さんが、審判をしていて良かった！と思うときはどんな時ですか？

彦坂：たくさんの方と会うことができることですかね。

澤井：色々な方とお会いでき、諸先輩方に体験談などを聞けること、そして、間近で熱い戦いに関われる事も審判員の醍醐味だと感じています。

平山：一番近くで選手のプレーが見られることです。空気間が感じられるのはフィールドにいられるからだと思っています。

山田：勝っても負けても一所懸命に戦っている選手のサポートが出来たな！と感じる時です。



Q : 皆さんが、審判をしていて辛かった！と思うときはどんな時ですか？

彦坂：自分のperformanceが出来なく、修正もなかなか出来なかった時です。今年は凄く暑く辛かったです。

澤井：自分の体調管理不足で、パフォーマンスを発揮出来なかったときです。

平山：色々あるとは思いますが、とりあえず炎天下でも黒い服で黒い靴なことですか。(笑)

山田：判定や進行に悔いが残る時です。



Q : 最後に女子サッカー選手権の決勝戦を終えた皆様に質問です！今後の女子サッカーに期待するのはどんなことですか？(審判目線でもサッカー競技目線でもどんなことでも構いません！)

彦坂：毎年思いますが、とてもサッカーの技術、能力、スピードが上がっていると思います。審判もしっかりトレーニングをして行かないと！とは常に思っています。ワールドカップでは開幕戦に日本人3人の方々が堂々とピッチに立った姿が好良かったです。あの姿を見て「私も！」と思って審判に興味をもってもらえれば嬉しいです。女子サッカーもWEリーグプロ化になって2年目益々盛り上がってほしいです。審判員、選手もたくさん増えてほしいです。県内で女性審判員の仲間が一人でも増える様に取り組みたいです。まずは興味を持ってもらえたら、女子の審判員もいるとの認識も知ってもらえたらいいなと思います。今後ともご指導のほどよろしくお願いします。

澤井：女子審判員が増えて、千葉県を盛り上げていけたら良いなあとと思います。

平山：選手の皆さんやチームの方々には楽しんでチャレンジを続けていていただきたいと思います。きっとその先に良い結果があると思うので。また、多少なりとも関わっている大人としては、これからもサッカーを続ける女子選手やチーム、始めようと思っている女子の皆さんがもっと参加しやすい、継続しやすいように様々な環境が整うといいなあとと思っています。

山田：サッカー競技者も進んで審判資格を取得して欲しい、U-15の活動場所を増やしてほしい。地域格差を無くしてほしい。



みなさま、ありがとうございました。



2023年度夏の研修会を 開催しました(育成部)



新型コロナウイルスの影響で開催できていなかった「夏の研修会」を2023年8月に4年ぶりに開催しました。高校生同士の練習試合など様々な試合を利用し、各種別に協力していただきながらの開催となりました。

今回は、その中の一部を紹介します。



研修生の皆さま



振り返りの様子



指導者の皆さま

コロナ禍となってから対面での研修が非常に難しく、今年2月の県民大会では試合グループ毎の振り返りなど少人数での研修を再開することが出来ました。8月には久々に審判員同士、審判インストラクター同士、また相互に話し合いながらの研修を行うことが出来ました。県内高校・大学の練習試合やプライベートな大会をお借りし、飲水タイムに簡単なアドバイスをしながら実践—アドバイス—実践、そして振り返りと前向きな研修を行うことが出来ました。

基本的には千葉県サッカー協会からの派遣依頼を受けて頂いているカテゴリーCとDの方を中心に行いましたが広く3級審判員の方にもkickoffを通じてご案内をさせて頂き、新たにカテゴリーに登録させて頂くなど試合数の増加に伴う審判員不足の解消を含め審判員の皆様のレベルアップに繋がる研修になったのではないかと思います。

研修後のアンケートでは、

- ・とても良かった 53.8%
- ・良かった 35.9%
- ・期待通り 2.6%
- ・参加できなかった 7.7%

と、公募に参加されている前向きな方々ですので、ある程度期待に応えることが出来たと思います。また、対象試合についても殆どがカテゴリーに合っていたとのことで、ある程度事前に高校生・大学生など示して応募したことで乖離は殆どなかったようでした。

アンケートの結果は こちらに全て記載しております。

[https://docs.google.com/spreadsheets/d/1yv-](https://docs.google.com/spreadsheets/d/1yv-9MosRKU5ZkZUqwCFbfW82ukOEYOws/edit?usp=sharing&oid=117404031756874088000&rtpof=true&sd=true)

[9MosRKU5ZkZUqwCFbfW82ukOEYOws/edit?usp=sharing&oid=117404031756874088000&rtpof=true&sd=true](https://docs.google.com/spreadsheets/d/1yv-9MosRKU5ZkZUqwCFbfW82ukOEYOws/edit?usp=sharing&oid=117404031756874088000&rtpof=true&sd=true)

※個人名無しでご記載頂いており、また項目ごとに順序も入れ替えております。

(審判員・インストラクターともに同じ質問にしております。また個人名があるものについては編集しておりますが、その他は原文のまま記載させて頂きます。)

実際に研修を行い次回以降の課題と感じた点は

- ① 午前のみ・午後のみなど区切ったものの8月の暑さは研修を行うにはリスクが大きすぎる(もちろん競技者もだがこの暑さの中での試合は危険であり公式戦も含め昼間は危険である)。
- ② 公式戦割当との調整。以前に中止になった試合の追加派遣要請などもあり、研修を予定していた審判員の方に公式戦に行ってもらいながら指導者も同時に派遣することが出来なかった(審判指導者としての研修も同時に行っていたため)。

上記2点は次年度以降も対面での研修会を定期的で開催していくにあたり、年度計画を立案する時点で審判員の皆様の健康管理を含め留意していきたいと思っております。

暑い中頑張ってくれた審判員、審判インストラクターの皆様、またご協力頂きました高校・大学・社会人チームの皆様へ感謝申し上げます。

次回は試合数が少なくなる11~12月に練習試合等を使わせて頂く研修と、年明けには県民大会での研修を計画しております。こちらは公募・指名などカテゴリーに応じて立案したいと思います。日頃審判活動を頑張っている皆様に少しでもレベルアップのお手伝いが出来ますよう育成部・審判委員会としても取り組んで参ります。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

(審判委員会:五十嵐)

祝

サッカー・フットサル昇級者のご紹介～

サッカー2級
後藤 修平

フットサル3級
田山 祐二

(敬称略)

〇●〇昇級者の方々からのコメント●〇〇

サッカー2級

後藤 修平(ごとう しゅうへい)

こんにちは。この度、サッカー2級審判員に昇級させていただきました市川市の後藤修平と申します。昇級にあたりまして千葉県サッカー協会審判委員会の皆様、RAちばの皆様、市川市サッカー協会審判委員会の皆様には多くのご指導いただきまして本当にありがとうございます。

高校Tリーグ(東京都)2部の帯同審判員として高1の頃に審判資格を取得したのがきっかけでした。大学時代はプレーヤーとして活動し飲み会とバイトに明け暮れたせいで2回失効してしまいましたが、社会人になり気づいたら審判活動に夢中になっていました。

今後も目の前の試合を目標持って取り組み、毎試合反省と成長を繰り返して、「この試合、とりあえず後藤だったら大丈夫じゃね?」と思ってもらえるように頑張りたいと思います。27歳になって若いと言われる回数が極端に減ってきましたが、フレッシュかつひたむきに活動していきますので引き続き宜しくお願い致します



フットサル3級

田山 祐二(たやま ゆうじ)

皆さまこんにちは。松戸市の田山と申します。この度、フットサル3級昇級審査に合格する事ができました。普段はサッカー3級審判員として活動しておりますが、毎年お隣の柏市で開催されるバーモントカップに審判員として参加させて頂くなかで、サッカーとは違ったゲーム展開や、上級の方のレフェリングを目にし、今回受験をさせて頂きました。今回は受験者が私一人だけという緊張感の中、フットサル審判部の皆様の丁寧なご指導のおかげで無事に合格することが出来ました。今後はサッカー、フットサルの『二刀流』で千葉県の競技発展に微力ながらも貢献できればと思います。これからも精進していきますので、皆さまご指導宜しくお願いします。



祝

J1通算200試合担当



千葉県所属1級審判員の大川直也さんがJ1通算200試合担当を達成いたしました!

J1リーグ200試合を担当して

大川直也

2023年8月5日レモンガススタジアム平塚で行われた湘南ベルマーレ対サンフレッチェ広島の試合でJ1リーグ通算200試合を達成することができました。今までご指導いただいた諸先輩方、千葉県サッカー協会審判委員会、JFAのインストラクターの先生方には、感謝の言葉しかありません。



まず、私が審判を始めたきっかけは、小学校の時の少年団に父親がお父さん審判員、お父さんコーチという形で関わっていた影響もあり、高校生の時に審判係として始め4級を取得したのがきっかけでした。なお、4級新規取得の講師は、現在も千葉県内でインストラクターとして活躍中の菊池勝美さんでした。その後、大学進学(在学中に2級)、レフェリーカレッジに入学し、2004年12月に1級に昇級させていただきました。

Jリーグの審判員を経験していく中で思い出に残る試合を紹介したいと思います。それは、2010年のシーズン開幕戦、鹿島アントラーズ対浦和レッズ戦です。この試合はJ1のデビュー戦でもあり、とても緊張したのを覚えています。この試合を担当したのが吉田寿光(当時国際主審)さん、副審1が大塚晴弘(当時国際副審)第4の審判が宮島一代さん(当時国際副審)という経験豊富なメンバーに支えられてデビューをすることができました。試合後には、「これだけのピクマッチを担当したのだから、もうこれ以上の試合はないからどんな試合を担当しても大丈夫だよ」と声をかけていただき、無事にデビューできたことをよく覚えています。しかし、試合を振り返ってみると自分の目の前の些細なホールディングにフラッグアップし、吉田さんからはキャンセルされたことや当時鹿島でプレーをしていた大迫選手の際どい飛び出し(オンサイド)にフラッグアップしNHKの解説を務めていた山本昌邦さんから「審判員もシーズン幕開けとあって慣れていない部分もあるのかもしれない」とコメントをされているように反省するところも多かったです。

このように私達、審判員は常に100%を目指しますが必ずミスや課題がつきものです。そのエラーからどう学び、次につなげていくかが自分の成長にも繋がりますし、審判としての魅力の一つであると思います。さらにそんな時に私には、多くの仲間の存在が自分の成長の助けになっています。試合後には、多くのことを共有して次につなげています。時には、自分が行った判定を正当化したくなることもあります。(自分の判定ってかわいく見えてしまいますよね)しかし、多くの仲間から意見をもらって別の見方、考え方を共有して真摯に受け止めることで成長してくものと思っています。時には、メディアやSNS等でたくさんの批判をされることもありますし、自分がうまくいかず気持ちが塞ぎがちになることもあります。それでもこうして前を向いて頑張れるのは仲間の存在が大きいです。実は、200試合目の試合中の飲水タイムにサンフレッチェ広島青山選手が近寄ってきて「200試合おめでとうございます。」と声をかけていただいたことや201試合目を担当する試合のミーティング後に横浜FCの四方田監督からも「おめでとうございます！」と声をかけていただきました。こういった瞬間も審判を続けてきてよかったと思う瞬間でもあります。

最後にたくさんのお会いやご縁に恵まれてここまで審判活動をする事ができました。今の自分がここまで成長できたことは皆様のおかげだと思っています。本当にありがとうございます。



記念試合を共に担当した、左から鈴木規志氏、大川直也氏、中村太氏、岩崎創一氏



今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～

2023年6月24日(土)、25日(日)

JFA パーモントカップ第33回全日本U-12フットサル選手権大会 千葉県大会
～柏市沼南体育館～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今回はU-12のフットサルの大会で頑張っている皆さまにインタビューをしました。

- | | | |
|-------------------|------------------------------|----------------------|
| ①：氏名(敬称略) | ②：審判歴 | ③：フットサルの審判になったきっかけは？ |
| ④：審判活動で印象に残っていること | ⑤：フットサルの審判の魅力とは？(サッカーとの違いは？) | |

- ①：金指 友翔(かなさし ゆうと)
 ②：サッカーと合わせて約8年、そのうちフットサルは4年です。
 ③：高校1年生の頃、私が小学生の時に所属していた少年サッカーチームがフットサルの大会に参加することになり、当時のコーチから帯同審判を依頼され、フットサルの4級審判員の資格を取得しました。その後、大学進学に伴い千葉県に転居することとなり、ご縁があつてフットサルの3級審判員の資格を今年の10月に取得し、現在はサッカーとフットサルの派遣審判員として活動しています。

- ④：(サッカー)
 所属がまだ東京都だった頃の話ですが、地元の少年サッカーチームが開催した招待大会で小学3年生の選手に対してDOGSOを理由にレッドカードを提示したことです。多くのコーチから「招待大会だから空気を読んでくれ」と言われ、杓子定規みたいになるのではなく包容力をもって柔和なレフェリングをすることが必要な時もあるということ学んだ試合でした。

(フットサル)

3級の資格取得後、間もなくして入れ替え戦の第二審判を務めたことです。当時はフットサルの審判経験が少なく、さらに入れ替え戦のような重要な試合をそれまでに担当したことがなかったので、頭真っ白の状態で臨みました。

- ⑤：サッカーよりもピッチが狭い分、一瞬のプレーによって得点が左右される場面が多いので、より細かな動作や接触などを見極めなければならない点がサッカーとの違いだと思います。そのような場面で正確に判定し、試合が終わった後に選手や監督から「ナイスジャッジ！」と一声を掛けてもらうと、とても気分がよくなります(笑)。そこがフットサルの審判の魅力だと感じています。





- ① : 矢作 政美(やさく まさみ)
- ② : フットサル取得は平成16年3月で19年目になります。ちなみに、サッカーは先日30年の永年表彰を頂きました。
- ③ : 周りの方々の審判姿を見て私もやりたくなった事に加えて、息子が県リーグの選手で、色々とフットサルの話を聞いて審判としてもやりたくなりました。
- ④ : フットサルの試合ではサッカーよりも素早いプレーが常に多く、その中で的確なレフェリングと判断力が必要と感じました。
- ⑤ : 学年時代はバスケットボールをしていて室内でのシューズの音が好きでした。テンポよく行うのがバスケットに似ている所がいいですね！



- ① : 田山 祐二(たやま ゆうじ)
- ② : サッカーと合わせて10年(記念コインありがとうございました!)、そのうちフットサルは8年です。
- ③ : 息子の所属するチームがバーモントカップにエントリーすることになり、フットサル審判が必要になったためです。
- ④ : バーモントカップに審判員として参加した際に、上級審判員のかた達とご一緒し、皆さんが真剣に取り組んでおり、また細部にわたる気付きや競技規則の理解も深く、感銘を受けたことです。
あと、サッカーの審判中にフィールドの中央で竜巻が発生した時です(汗)。
- ⑤ : フットサルの魅力は攻守の入れ替わりが激しく、すぐにチャンスがピンチにもなり、スリリングな展開が多いことです。審判も常に気が抜けません！



- ① : 浦田 光行(うらた みつゆき)
- ② : サッカー35年、そのうちフットサルは17年です。
- ③ : 流山市にフットサルコートが完成し、子供たちがフットサル大会に参加できるようになり新規取得しました。その後、社会人のイベントが有り審判依頼を受ける様になりましたが、社会人のゲームをコントロールするには4級審判員だと信頼されず、サッカーの3級を利用しフットサル3級を取得しました。
- ④ : 息子が出場した4年生県選手権準決勝・決勝で習志野市秋津サッカー場(当時)でナイターの試合が有り、手入れされた天然芝ピッチの素晴らしさに感激した事が思い出されます。
又、息子が5年生の時、ロッテカップ杯県大会で帯同審判として準々決勝のAR1を担当し、お手当を頂いた事や、4年生県選手権大会準決勝を2年連続でAR2を担当し、コアラテレビに放送された事も印象深いです。(私自身は見えておりません。子供に教えてもらいました。残念！)

- ⑤ : フットサルはテクニックを磨く為のゲームと理解しております。その魅力は試合が身近で見られる事と、足の裏等を使ったテクニックが魅力的です。又、サッカーと違ったスピード感です。ノットラップでワンツー、ワンツースリーが決り、得点した時は審判ながら感激致します！

- ① : 小倉 敬右(おぐら けいすけ)
- ② : サッカーと合わせて今年で10年目になります。(フットサルは5年目です。)
- ③ : 友人とフットサルのチームを作ってリーグに出ようか!という話をしていて、その準備で3級を取りました。その後、更新講習で初めてフットサルの審判をやらせていただいた時に結構楽しかったのと、お誘いいただいたことがきっかけです。
- ④ : ここ近年で印象的だったのは、数年前フットサルをやらせていただくようになってから間もない頃、試合後に選手の1人がピッチ上、我々審判団のところに来て、「レフェリー頑張ってくれ!こんなじゃ千葉県フットサルの競技レベルが上がらない!」との不満をかなり感情的に訴えてきたことがありました。冷静に考えたら警告もしくは退場になるかもしれない言動ですが、その時の自分にはフットサル独自のルールだったり戦術、選手の言動一つとってもサッカーとは違う部分への適応が出来ておらず、その言葉が見事に刺さってしまい、何もアクションができませんでした。「フットサルという競技をもっと知らなければならぬ」と強く感じるきっかけになりました。
- ⑤ : ピッチのサイズがサッカーに比べて狭い分、ピッチのどこに争点があるかと次の瞬間にはチャンスになっているような展開が続出するのが魅力的です(フットサル部長の室田さんからは「サッカーというペナルティエリア内で常に試合やっているような感じ!」と魅力をよく教えてもらいました)。



- ① : 宮田 達夫(みやた たつお)
- ② : サッカーと合わせて約25年、そのうちフットサルは20年です。
- ③ : 少年団のコーチをしていましたので、大会等の帯同審判がきっかけですかね。
- ④ : すみませんが、サッカーでもフットサルでも色々ありますが…ビーチサッカー(各年代のカテゴリー)の魅力に、はまってしまいました(先輩の審判さんの影響ですかね…)
- ⑤ : 特に、攻守の切り替えが多い事ですかね…。



- ① : 松尾 晋也(まつお しんや)
- ② : サッカー、フットサル共に約7年です。
- ③ : 4級審判のライセンスを取得した後、地元の民間施設で平日夜の社会人のリーグ戦の審判を知人に依頼されたのがきっかけでした。そこで経験を積んでから3級の昇級試験を受け、現在協会派遣の割当を受けて活動しています。
- ④ : 数多くありますが、一発ノックアウトの緊張感のある全日本フットサル選手権千葉県大会の決勝ラウンドの試合です。3級だと主審、第2審では割当を受ける事のない関東リーグの在籍クラブの試合を担当する事もあるので毎年大きな刺激になっています。特に2019年の東実健保での準決勝が印象に残っています。

- ⑤ : 試合中に何度もランジョンが発生する為、その都度的確にポジションを取らないと事象を正確に観る事が

出来ない事。ファウルカウントの累積がある為、レフェリーが一つのファウルを取る事に非常に重みがある事。この部分は難しいですが、やりがいのあるフットサル審判の魅力でもあります。同時にレフェリーとしての技量の差が多く出る部分で、千葉県1級、2級の優秀な審判の方々と比較すると現状大きな差があるのですが、今後この差を少しでも埋めて、前述の選手権千葉県大会の決勝の審判を担当出来る様に頑張っていきたいです。



「地域で頑張っている」レフェリー取材に行きます！

千葉県内の様々な地域で色々な大会が行われて、そこで頑張っているレフェリー取材に行きます。例えば、4種の各ブロックが主催する大会で主管部から指定された方々、各市の審判部会から派遣された方々、地域やチームの招待試合において数名で審判を担当する方々など、また「こんな名物審判がいる！」など、紹介したいレフェリーなど情報をいただければ、総務部が取材に行きます。

情報を以下でメールしてください。(大会名、日にち、時間、レフェリーの人数等)お待ちしております。

メールアドレス: cfarc.somu@gmail.com

HALLOWEEN



フットサルの魅力！！①

～県リーグの魅力と県強化審判員とは～



なかなか馴染みがない…という方も多いフットサル。そんなフットサルの魅力に迫る連載企画第1弾！フットサル県1部リーグの様子と、県強化システムについて、室田フットサル部長と木村さんに迫りました。

目次

- ① フットサル県1部リーグに潜入！
- ② 室田部長と木村さんに聞く！県強化審判員、とは？（前編）

① フットサル県1部リーグに潜入！

複数のフットサル審判員から、フットサルの魅力を熱く語られました。馴染みがないのが本音だったので、県1部リーグを観戦してみたなら……凄い！テクニックやスピード感！何より選手やベンチとの距離が近く、サッカーとはまた異なる魅力に溢れていました！

・フットサルの魅力その1、近い！

なんといっても近い！40m×20mの大きさのため、選手やベンチと本当に近いです。選手の息遣いが聞こえる程の臨場感はフットサル最大の魅力かも知れませんね！

・フットサルの魅力その2、スキルフルなプレー！

小さなピッチ、小さなゴールに小さなボールでプレーするフットサルはスキルフルなプレーに溢れています！所狭しとプレーする選手たちは切り替えも早く、足裏を使ったトリッキーなプレーも見どころです。

・フットサルの魅力その3、主審が2人！？

ご存じの方も多いと思いますが、フットサルには主審と第2主審、2人が笛を持ってプレーします。これがまた難しい！2人が笛を持つメリットを最大限にすることがフットサルレフェリーの醍醐味かも？



② 室田部長と木村さんに聞く！県強化審判員、とは？（前編）

--こんにちは。最近フットサル審判員の方から「県強化審判員が凄い！」と伺いました。

室田部長(以下、室田):注目いただいてありがとうございます。基本的には現役で活動している木村が音頭を取っています。「千葉から出てくる審判は凄い！」と言われるようにしていきたいですね。

木村さん(以下、木村):審判員のモチベーションが上がるような取り組みをありがとうございます！実際のところ現役で活動しているので現場には行けていません。企画こそ私ですが、室田部長や櫻田さんに実働いただいで開催しています。

県強化審判員の狙い

- ・2級取得に必要な力を1年で集中的に取得する
- ・昇級にかかわらずとも基本的な能力を向上させる
- ・関東へ上がった時の準備をしておく(即1級候補になれるくらいに)

—具体的にどんな目標があるのでしょうか。

木村:上記の3つです。上級を目指す経験の浅いレフェリーにとって、色々な情報を与えることは本人にとっても大きいと思います。本人で行うことが普通かも知れませんが、もう少し手助けがあればと思っています。この強化研修は私が3級だった頃に良い指導を受けることができ、これをたくさんの方に受けて頂けたらな、というところからスタートしています。

過去10年、関東から1級が出ていなかった

—何か明確な課題意識はありますか。

室田:松田さんがめでたく1級に昇級しましたが、過去10年くらい関東から1級が出ていなかったということがありました。また2級として担当する関東リーグは審判員を育成する場ではありません。なので「2級に上がる=関東で吹ける人」、「千葉からは1級候補として関東(2級)に上げたい」としています。自然には育たないので、「じゃあ強化していこう」と木村と話し合っ始めたのが強化制度です。

—参加者の話では毎月のように充実した研修会があり、競技規則テストや撮影をした動画を用いた振り返りも行われると聞きました。実際の活動を教えてください。

室田:基本的な動き方です。動き方を見れば「フットサルの理解」がわかります。千葉からはそれを体得した人を出したい、そういう内容になるようにしています。

木村:嬉しい言葉ですね。対象は3級審判員ですので、私自身が3級だった頃に受けたいい指導に加えて「こうだったら良かったな」という部分を足しています。



指導する木村さん(右)

活動内容詳細

- ・年10回の主審研修会、年2回の副審研修会を開催する
- ・後日映像研修を行い、振り返りを行う
- ・2か月に1度のフィットネスチェックを行う



指導する室田さん(左)

木村:具体的には前回までの課題に試合で取り組み、その映像を用いて後日振り返りを行うことの2本立てです。その他に割当の合間に競技規則テストを開催したり、別日に行うフィットネスチェックは櫻田さんも一緒に走ったりしています。

室田:難しいことは伝えていません。基本を徹底させるしかないと考えています。

—当日ではなく後日に映像による振り返りをするのですね。

木村:毎試合撮影するので、課題となる箇所を切り取って後日オンライン研修を行います。後日の方がクリップも用意できますし、落ち着いた環境でできますね。

室田:良いところであり課題でもありますが、人が不足しほぼ同じメンバーで複数の試合を担当しています。なので撮影も相互にできるということもあります。

—かなり充実した内容ですし、先の予定がわかるのはとてもありがたいですね。

室田:元々人が少ないので(笑)。だからこそ大切に育てたいと思っていますし、指導者が審判員に予定を合わせ

ている部分もあります。

木村:日程を早めに組むことや講師をうまく準備することは自分の経験から欲しかった部分だと思います。それもやはり周りの方々のご協力あってのことです。良い環境にあることを研修員達を感じ取りはじめ、我々も質を高める工夫を日々模索している段階です。まだまだこれからですね

次回は千葉のフットサル審判員の将来について青写真を伺いつつ、県強化のメンバーに迫ります。



～本年も千葉で開催しました～



U-12 ジュニアサッカー ワールドチャレンジ2023

2023年8月24日(木)～8月27日(日)

昨年、初めて千葉で開催された「U-12 ジュニアサッカーワールドチャレンジ」が本年も千葉で開催されました。この大会は4日間で84試合、延べ252名の審判員が必要で、今年は派遣審判員に加えて2種や3種の先生や学生、そしてJAPANサッカーカレッジの生徒さんにも協力していただき、それぞれの担当試合についてはインストラクター部が中心となって試合の振り返りを行い充実した大会になりました。

多くの皆さまのご協力で無事に8月27日の決勝戦まで終えることができました。当日の様子を掲載します。



決勝戦の審判団(左から鹿内氏、瀧上氏、佐々木氏、黒澤氏)お疲れ様でした。



AR2:鹿内氏



第4の審判: 淵上氏



主審: 佐々木氏



AR1: 黒澤氏



決勝戦入場シーン(以下のリンクをクリックしてください)

<https://photos.app.goo.gl/s2ViNVePe4Nug6hw9>

※2023年12月31日まで

U-12 ジュニアサッカーワールドチャレンジ 2023 について

詳細は以下のリンクをご覧ください。

<https://u12-juniorsoccer-wc.com/2023/>



(ユース特別版) 今日も地域で頑張っています!!

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～
2023年8月24日(木)～27日(日)U-12ワールドチャレンジ2023
～フクダ電子スクエア、フクダ電子フィールド、フクダ電子アリーナ～



今年も「地域で頑張っています」の**特別版**として、8月に開催された「U-12ワールドチャレンジ」に審判として参加したユース審判員にインタビューをしました。様々な試合で様々な審判員と一緒に試合を担当し、貴重な経験になった事と思います。今後の皆さんの成長を期待しています。

- | | | | | | |
|---|-------------------------|---|----------------------------------|---|----------------|
| ① | ： 氏名(敬称略) | ② | ： 審判歴 | ③ | ： 審判になったきっかけは？ |
| ④ | ： 審判活動で印象に残っていること | ⑤ | ： 今回のU-12ワールドチャレンジに審判として参加して感想は？ | | |
| ⑥ | ： 審判をする前、選手の頃の審判のイメージは？ | ⑦ | ： スバリ！選手と審判どちらが楽しい？その理由は？ | | |
| ⑧ | ： 今後の目標とその決意をお願いします | | | | |

- ① : 加藤 悠真(かとう ゆうま)
- ② : 中学校1年生から始めたので6年目になります。
- ③ : 練習試合で初めて審判を経験し、審判の存在の重要性和やりがいを感じて始めました。
- ④ : 試合終了後に、両チームから「ナイスジャッジ！ありがとう！」と言われた時は、やっていて良かったなど強く印象に残っています。
- ⑤ : 様々な審判員と関わらせてもらい、自分にはないレフェリーとしての動き方や振る舞い方、コミュニケーションの取り方など、様々なことを学ばせてもらった大会でした。来年も参加させていただき、色々なことを学んで吸収していきたいです。
- ⑥ : 正直、堅くて、怖いイメージでした(笑)。選手とレフェリーは距離があるイメージもあり、あまりいいイメージはありませんでした。しかし、実際に自分になって色々な審判員と関わると、どの審判員も選手ファーストでどのようにすれば選手のプレーが生きるかなどを考えていて、とても自分のイメージとは違いました！
- ⑦ : やはりどちらもいいです！選手は選手、レフェリーはレフェリーで良さがあります。現在、選手と審判員を両立してやっていますが、どちらの立場の時でも両方の立場を理解しやすいので、両立しながらだと、よりサッカーが楽しいです！
- ⑧ : 自分のレフェリングの技術向上をしていきたいので、たくさん試合を経験したいです！たくさんの試合経験でレフェリング技術を磨き、まずは2級へ昇級したいです。最終的な大きな目標は国際審判員になることです！





- ① : 北嶋 叶太 (きたじま かなた)
- ② : 1年です。
- ③ : 高校入学時に、先輩が選手として試合には出ず、紅白戦の審判をしていて、「え?っ」と思ったのが審判を気にするようになったきっかけです(笑)。その後自分が怪我をしがちになり、紅白戦や練習試合で審判をするようになり、「審判楽しいな!」と思い、審判を本格的に始めました!
- ④ : 初めて公式戦の主審を務めた試合が1番印象に残っています! 紅白戦等で経験を積んでいたとはいえ、公式戦となると自分自身も変に緊張していて、なかなかゲームをコントロールすることが出来なかったです。そういうこともあって1番印象に残っています。
- ⑤ : 活動場所が少ない中でこのような大会の審判をする事が出来たことに感謝でしかなかったですし、凄く楽しい時間でした。ですが、まだまだ心・技・体が出来上がっていないと強く感じました。2級審判員、1級審判員のレフェリングを見て、まだまだ自分も成長しないといけないと感じました。
- ⑥ : 審判をする前は審判へのリスペクトが無く、よく文句を言って注意されていた身なので『敵』という印象でした(笑)。

選手と審判を両立していた時間は少なかったですが、審判を初めてからレフェリーへのリスペクトを持つようになり、良い関係を築くようになりました!

- ⑦ : 審判の方が楽しいです! 自分の1つのジャッジでチームの、選手のキャリアを左右させる仕事なので、そういう責任の元、審判を全うするのがいい緊張感で、すごく楽しいです。
- ⑧ : 目先の目標としては、3級を取得することです。目の前の目標をコツコツと達成していき、いずれは兄が選手、父が監督、自分が審判としてJリーグの舞台に立てたいいな!と思っています。ですが、今のままではJのピッチどころか、3級すら怪しいと思っています。周りの方達より実績のない分、人一倍トレーニングをし、人一倍勉強をし、自分色の審判像を描けて行けたらいいなと思います。

① : 川村 空生(かわむら くら)

- ② : 約5年。
- ③ : 中学の部活で怪我をした際に、顧問の先生にリハビリついでにやってみたら?と言われたのがきっかけです。
- ④ : 初めてレッドカードを出したときです。その判定に対しては後悔がないものの、ほかのシーンで見逃した事象があり、警告をすることができず判定が偏っているといわれても仕方がない試合になったことです。
- ⑤ : 去年は怪我で参加できず、今年こそは!と思っていました。多くの主審の割当、準決勝の割当を頂けたことに感謝したいです。ベトナム、バルセロナの試合では言語の壁を痛感しました(笑)。また、インストラクターの方からもアドバイスを頂けたり、JSCの方とも交流があったりととても楽しく、有意義な時間になりました。
- ⑥ : 選手のころから審判には興味があり面白そうだなとは思っていましたが、ただ、選手としてやっている中で判定に対して説明をしてくれなかったり、すべて高圧的に対応されたりすると不信感がありました。審判を始めてからはその経験を活かし、なるべく判定に不信感を持たれたら説明をすることを心掛けています。
- ⑦ : 審判です! 自分がGKをやっていたからかもしれませんが、一試合一試合無事に終えられたことへの達成感や、課題を改善できた時の喜びが大きいからです。
- ⑧ : まずは受験ですね(笑)
審判としての目標はまず2級をとることです。まだまだ遠いですが、一つ一つの試合、研修会などを大切に、大学2年生までに昇級することを目標とします。
今後ともよろしくお願い致します!





(追加版) 今日も地域で頑張っています!!

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～
2023年8月24日(木)～27日(日)U-12ワールドチャレンジ2023
～フクダ電子スクエア、フクダ電子フィールド、フクダ電子アリーナ～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今年も「U-12ワールドチャレンジ」に審判として参加し、頑張っている皆さまにもインタビューしました。

- | | | |
|-------------------|--------------------------|----------------|
| ①：氏名(敬称略) | ②：審判歴 | ③：審判になったきっかけは？ |
| ④：審判活動で印象に残っていること | ⑤：これだから審判は辞められない審判の魅力とは？ | |

①：林 昌紀(はやし まさき)

②：約4年になります。従来は船橋市内で4種・8人制を中心にやってきましたが、経験を重ねてきた最近では県内で行われる3種以上の試合をやらせていただく機会にも恵まれ、審判活動の幅が徐々に広がってきました。

③：小学生になった息子がサッカーをやりたいからと、地域のサッカーチームに入団しました。所属したサッカーチームでは試合に必要な審判を保護者たちで担うこととしていたので、それをきっかけに審判を始めました。息子がサッカーを頑張る以上に、自分も審判を頑張りたいと思いましたし、今でも息子の努力を自分の励みにしています。

④：劇的な試合、ドラマティックな試合などはもちろん印象に残るのですが、選手たちにとって良い審判だったのか悪い審判だったのか、ということに関係なく、審判にリスペクトの念を示し、試合終了後に「ありがとうございました！」と言ってくれる選手やチームはとても印象に残ります。そういう選手やチームのいる試合の審判をした後は、『もっとフェアにジャッジできるように努力していかなければいけないな!』と思わせてくれます。

⑤：満足のいくジャッジができたとしても、完璧にジャッジできるなんていうことはないのではないかと思います。試合を終えるごとに毎回反省し、どうすれば完璧に近づけるのかと考え続けるのが審判なのではないかと思います。審判としての技能を向上させようとし、完璧を追求していこうとする向上心を持てることこそが、審判の魅力なのではないかと思います。





- ① : 中山 達良(なかや またつろう)
- ② : 約11年になります。
- ③ : 息子・娘が街クラブチームに入団しパパコーチに。いつのまにか審判も始めていました。(笑)
- ④ : かなり前になりますが、試合中に選手がケガをし、救急車が学校の校庭に入ってきてその選手が搬送された横で主審をしたことがあります。救急車がサイレンを鳴らしながら学校の校庭に入ってくる時点から試合に集中できませんでした。もちろん私自身としても反省点が多々あり、今でも私のレフェリングに大きな影響を与えています。
- ⑤ : 一点差を争う緊張感のあるゲーム、一方的なゲーム、荒れた激しいゲーム、ほっこりしたゲームなど4種からシニアまでいろいろ経験させていただいておりますが、試合終了時に選手達と一緒に素晴らしいゲームにたずさわる事ができたと実感できた時が私にとって審判を辞められない魅力です。(もちろん私が大きなミスをしていないのが条件です)最近ではジュニアをみてきた選手がU-18で久しぶりに見かけることなども楽しみの一つとなりました。

- ① : 澤本 真(さわもと ただし)
- ② : 今年で9年目です。
- ③ : 長男と次男が小学生のときに所属していた船橋JYSで帯同審判で活動したのがきっかけです!
- ④ : 試合で息子にイエローカードを出したことです。長男はU-12のときに初めての警告(ラフ)で泣いてしまい、次男はU-13でフリーキックの距離の警告を審判報告書に記載しました。良い思い出です!
- ⑤ : たくさんありすぎて、一言では語りきれません(笑)

息子と一緒にピッチに立って元気いっぱい走り回れることや、割り当てで息子と同じチームだった子ども達と会って成長を感じたり、挨拶しにきてくれて話しができること。今年ではジェフのTMで副審の機会をいただき、プロや1級審判の方と一緒にできたことは目標のひとつが叶いました! 職場でサッカー好きの後輩に海外リーグの判定についていろいろ聞かれ説明してあげられること。審判仲間の飲み会はみんな審判の話が付きず、いつまでもサッカー少年のようです! などなど。自分のレフェリングは反省することが多いですが、サッカーの魅力を引き出すレフェリングをすることが今の目標です!



- ① : 宮入 邦寿(みやいり くにとし)
- ② : 2020年6月に取得、今年で4年目となります。
- ③ : サッカーは未経験となりますが、子供の成長を近くで見守るために少年団チームのコーチを引き受けたところがスタートとなります。
- ④ : 前回のワールドチャレンジが割当活動を始めてすぐの活動でしたが、副審としてメンバーチェックをする際、子供たちが声を掛けながら番号順に並び直していたのがとても印象に残っています。同じ小学生年代でも精神面での成長、審判へのリスペクトがここまで違うのかと感心しました。
- ⑤ : サッカーの経験がない私でも、本気で向き合っている選手達と同じピッチに立てること、一緒にゲームを作る一員になれる事です。若い頃から経験を積みプロの試合に立てるチャンスも十分あるので、選手としてだけでなく、審判もやってみたいなと思ってもらえるような活動を心掛けたいと思います。



- ① : 岡本 翔吾 (おかもと しょうご)
- ② : 途中でブランクもありましたが、約15年になります。
- ③ : 中学生の頃から興味を持ち始め、高校生の時に顧問の先生の勧めもあり、ライセンスを取ったことが始まりです。
- ④ : ARIを務めた際に、自分のオフサイドの判定に対して、監督さんから「ナイスジャッジ！」と声をかけていただき、選手にも「審判がしっかり見てくれるから思い切ってプレーしよう！」と声をかけてもらえたことです。選手が気持ちよくプレーし、選手の力を引き出したいと心がけているので、とても嬉しかったです。
- ⑤ : 選手としては立てなかった舞台に立てたり、関わることもできなかったような方と関わる事ができたりすることだと思います。さらに勉強と経験を重ねて、選手が気持ちよくプレーし、選手の可能性を広げられる審判員を目指したいです。



～2023年度の審判資格更新について～

今年度もコロナ感染症の影響等により更新講習会(集合講習や実技講習)の開催が少なくなっています。3級・4級のサッカー・フットサル審判員の資格更新については、「JFAラーニング」を利用しての資格更新を推奨致します。2級のサッカー・フットサル審判員の資格更新については、決まり次第KICKOFFメール等で案内します。

〈JFAラーニング〉

JFA KICKOFFにログインしていただき、

- 1、画面左側の「審判」をクリック。
- 2、「講習会・研修会」をクリック。→「講習会・研修会申込み」をクリック。
- 3、「更新講習会」を選択。
- 4、「検索」をクリックし「JFAラーニング」を選択して下さい。



JFAラーニングについては下記、URLを参照してください。

<http://els.jfa.or.jp/info/referee/invitation/html/>

JFA ラーニング (サッカー/フットサル 3級・4級審判員資格更新eラーニング) JFA DREAM

- JFAラーニングについて
- JFAラーニング受講までの流れ (サッカー/フットサル共通)
- JFAラーニングを受講する前に

JFAラーニングについて

JFAラーニングは、サッカー3級・4級審判員・フットサル3級・4級審判員向けのeラーニング更新講習会です。
サッカーおよびフットサルの審判員として知っておかなければならないことを中心に、資格の更新に必要な内容を学ぶことができます。

ログインページ

Web 申請登録 資格の取得・更新はこちら
➔

なお、「JFAラーニング」の受講は10月から可能です。

受講完了で審判資格の更新が出来ますが受講には期限がありますので、お早めに受講下さい。

※更新講習会(集合講習や実技講習)や「JFAラーニング」の受講期限徒過により更新講習を受けられない場合は、2023年度末で審判資格が失効となりますのでお気を付け下さい。

2023年度更新講習会お知らせ(フットサル)

- ・ F3、F4 審判員の更新講習は JFA ラーニングでの更新をお願いいたします。
- ・ F2 級審判員及び 3 級インストラクターの更新講習会は決まり次第連絡いたします。

帯同審判員対象フォローアップ研修会

Web開催を計画中です。決まり次第、担当審判員に連絡いたします。

カテゴリー審判員対象研修会

Web開催を計画中です。決まり次第、担当審判員に連絡いたします

2023年度第二回フットサル3級審判昇級試験、フットサル2級予備試験

11月開催予定で場所、日時が決まり次第Webにアップ致します。

※2024年度新規取得講習会を含めて、詳細は決まり次第Webの方に詳細をアップいたします。

～競技規則のWeb化について～

サッカー競技規則2023/24については、これまでのように冊子で皆さまに配布するのではなく、Web版のみとなりました。以下のURLをクリックするとJFAのページからWeb版の競技規則を閲覧できますのでご確認ください。

<https://jfa.jp/laws/> (JFAのホームページ⇒関わる⇒審判⇒競技規則)

↓

2023/24

クリックすると各条項目を閲覧できます。
※説明映像なども見る事ができます。

▶ **Web版**

サッカー競技規則の各条項（第1条～第17条）を、Webページ形式で確認できます。
※一部条文において理解促進を目的とした説明映像クリップをつけています。
条文でリンクになっている箇所をクリックすることで、該当の説明映像を確認できます。

クリックするとPDF版の競技規則が表示され
PCや携帯などの端末に保存する事ができます。

クリックすると審判員のための
実践的ガイドラインが閲覧できます。

▶ **審判員のための実践的ガイドライン**

審判員に向けた競技規則の補足情報となる実践的アドバイスなどを、Webページ形式で確認できます。

サッカー競技規則2023/24(ファイルサイズ:10MByte)

2023/24年競技規則の主な修正リスト

なお、これまで通りの冊子版が欲しい方は、JFA ストアから購入する事ができます。
 JFA KICKOFFにログインしていただき、「JFA STORE」をクリックすると「一覧」から選択し購入できます。

↓
 KICKOFFにログインした画面



https://official-store.jfa.jp/goods_detail.php?id=1321

また、「JFA Passport」では様々な審判活動に役立つ動画コンテンツや、競技規則などへのリンクもありますので、こちらにも有効に活用してみてください。

↓
 Movie画面



○●○○●郡市協会だより○●○○● 各都市よりホットな情報を直接お届けします。

第1回初心者向け講習会を開催しました

千葉県サッカー協会・4種審判部会(部長:畑田 浩一)

2023年6月11日(日)に千葉市立磯部第三小学校のグラウンドで、初心者向けの講習会を開催しました。受講生は審判資格取得から間もない方や、実践で技術の向上を目指す方など各区のチームから募集し、8名の参加となりました(スタッフ6名)。

これまで、千葉県では3級審判昇級に向けた勉強会や、4種の県大会の審判に向けた技術認定等に取り組んで来ましたが、新しい取り組みとして「初心者向け」の講習会を企画しました。

前日まで4種審判部会で資料を準備し、当日は以下のカリキュラムで実践を中心に、練習試合を使用してほぼマンツーマンで講習を行いました。参加した受講生からは、概ね好評をいただき、反省点は改善して次回はより良い講習会にしていきたいと考えています。

【当日のカリキュラム】

- ・審判テクニック説明…ゲームの流れ、マッチミーティング・審判ミーティング、主審の動き(ゲームコントロールテクニック等)、副審の動き(フラッグテクニック等)、第4の審判の責務 など
- ・実践演習…5年生の試合のレフェリングを実施して頂きました。(8人制4人審判)
- ・ふりかえり

【当日の様子】…事前に説明の後、実践で一緒について教え、最後に振り返りをしました。



また、2023年7月15日(土)には、昨年に続き「3級審判昇級試験」に向けた勉強会を千葉市中央コミュニティーセンター講習室で行いました。

当日は、3級昇級試験の問題対策を中心に、出題傾向や例題と解説を一つ一つ確認し、参加スタッフからは合格テクニックやポイントをアドバイスしました。10月の昇級試験で一人でも多くの方が合格できるよう期待しています。



参加者全員で記念撮影

広告主さま募集しています

- ・千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
 - ・募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
 - ・この枠が1枠の大きさの目安です。
- 詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局
(TEL [043-310-4888](tel:043-310-4888))にご連絡をお願いいたします。



編集後記

熱中症に気を付けてと言っていたと思ったら、もう涼しくなってきましたね。徐々に負傷が気になる季節になってきます。ウォーミングアップとダウンをしっかりと。体に気を付けつつサッカーライフをエンジョイしましょう！ (Fucchie)

レフェリーニュース編集員

| | |
|-----------------------|--|
| 高野 祐介 | E-mail : cfarc.somu@gmail.com |
| 長谷川 鉄哉 | |
| 淵上 祥太 | |
| 金子 秀之 | |
| 公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会 |  http://cfa-referee.lolipop.jp/  |